

令和元年度 第1回郡山市中小企業及び小規模企業振興会議 会議録（要旨）

日時：2019（令和元）年9月4日（水）14:00～14:30

場所：郡山市役所西庁舎5階 5-1-1 会議室

【出席者】

委員：初澤会長、大槻副会長、荻島委員、小林委員、胡摩ヶ野委員、相模委員、
佐藤委員、橋本委員、松本委員、諸橋委員、柳沼委員、山田委員、
山貫委員、鷺谷委員（欠席：中川委員）

※オブザーバー：（中川委員代理）辻本朋美氏

事務局等：藤橋産業観光部長、村田産業観光部次長、穴戸産業政策課長、
木村産業政策課長補佐、齋藤産業政策課産業政策係長、
安藤産業政策課産業政策係主任

【傍聴者】：なし

1 開会（司会：木村課長補佐）

2 市長挨拶

- ・皆様ご多用の中、ご参集賜り誠にありがとうございます。
- ・2000年ごろ、クリントン米大統領、ブレア英首相の時代に、デジタルデバイドが生じないように、光ファイバーを張り巡らせるなどの施策が取られ、女性の社会進出と中小企業の振興、障がい者の社会参加を目指してきたが、20年経って現実のものになったと実感している。
- ・障がいのある方が活躍できるようになったこととしては、今回の参院選で車椅子の候補者が当選し、今後議会活動をする事となるが、これはまさに、デジタルトランスフォーメーションを進めた素晴らしい成果である。
- ・中小企業等においてスタートアップが可能になってきたこととしては、机とパソコンがあればビジネスができる時代であり、私も昨日、新幹線車内でタブレットにより決裁、報告メールの返信をした。また、医療の遠隔診断、ハローワークにおけるネットでの職業紹介など、今までの face to face からインターネットでのビジネスが当たり前になってきた。
- ・郡山市役所もキャッシュレス、ペーパーレス、カウンターレス、ファイルレス、会議レスなどで民間の皆さんに遅れをとらないようにしたい。
- ・本市はスタートアップのまちである。郡山に本社を持つ企業が、東京や仙台に支店を出して外貨を稼ぐ。企業誘致ではなく企業“雄飛”。これが本当の地方創生で

あると考える。そのためにもインターネットを自由に使っていただける環境整備が必要である。郡山がスタートのまちとして、素晴らしい成果を世界にもたらしすことを目指して、皆様方にご討議いただきますようお願い申し上げます。

3 委員紹介

- ・各委員の紹介、委員から一言、挨拶。
- ・市長、他の公務のため退席。
- ・事務局職員の紹介。
- ・事務局提案により「郡山市附属機関等の設置及び運営に関する指針」に基づき、会議の公開の可否について協議し、会議を公開することに決定。

4 会長・副会長選出

- ・振興会議規則第2条に基づいて選出する会長、副会長の選出方法について協議。
- ・委員より、「事務局案はどうか」との意見があり、各委員からも事務局案の提示に「異議なし」。
- ・穴戸産業政策課長から事務局案として「会長 初澤委員、副会長 大槻委員」の提示があり、各委員「異議なし」とのことから、事務局案で決定。
- ・初澤会長、大槻副会長から一言、挨拶。

5 議事

会長が議長となり議事を進行。

(1) 郡山市中小企業及び小規模企業振興会議について

事務局から資料1により、振興会議の位置づけ、スケジュール等について説明。

第2回会議は10月18日予定。

(質疑無し)

(2) その他

(無し)

4 閉会

以上